



廃棄物

トータルケア・システム株式会社



紙おむつのリサイクルを通じて、SDGsへの貢献を目指します！

連絡住所

福岡市博多区井相田1-10-40

電話/mail

092-588-3365/info@totalcare-system.co.jp

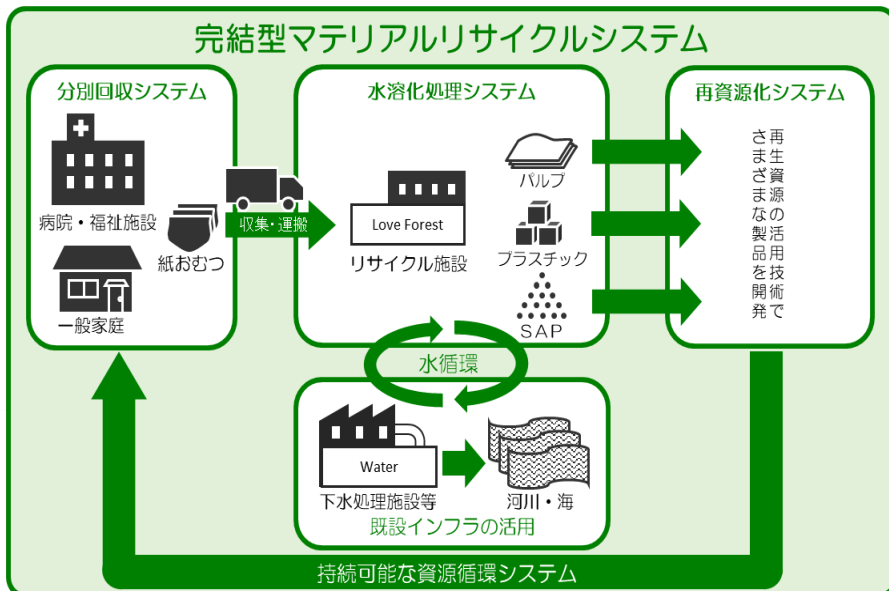
私たちは、使用済み紙おむつを資源として位置付けています。焼却処分するのではなく、リサイクルされる事が当たり前の社会を目指します。国、自治体、地域住民、さまざまな事業者との連携を通じて、地球環境にやさしい街づくりの実現に向けて取り組んでいます。
(代表取締役 長武志)



代表取締役 長武志

環境に優しい紙おむつリサイクルシステム

▼ 完結型マテリアルリサイクルシステム



▼ 工場外観 (LOVE FOREST大牟田)



▼ 再資源化システムにおける回収物



再生パルプ



建築資材



プラスチック原料 (ペレット)



土壌改良剤

効果

医療・福祉・介護の現場から出される使用済み紙おむつを、焼却処理ではなくリサイクルすることで**資源の有効活用**を推進できます。

当社は「分別回収」「水溶化処理」「再資源化」が一体となって機能するシステムを構築しており、化石燃料由来の**温室効果ガス排出量の削減**と**環境負荷の低減**に大きく貢献できます。紙おむつは含水率が高く、燃焼効率が低いため、焼却炉への負荷低減の観点からもメリットがあります。

リサイクルシステムの構築には分別回収システムが不可欠であり、自治体と連携しながら、**地域の持続可能な発展**にも寄与していきたいと考えています。

用途

リサイクルシステムの構築に向けて、製造から販売、排出、再資源化に至るまでの各段階におけるコンサルティング業務を行っています。台湾の大手衛生材料メーカーとも業務提携を結んでおり、海外での事業展開も視野に入れていきます。

特長

● 医療福祉施設・自治体と協力した分別回収

リサイクルの障壁となる異物の混入量を低減するため、医療・福祉施設との協力体制を築いており、また、福岡県内の自治体（大木町・みやま市）とも連携して、使用済み紙おむつの分別回収に取り組んでいます。

● 焼却を代替する技術「水溶化処理」

現在、紙おむつのほとんどは焼却処分されていますが、当社は水溶化処理によるリサイクルを2005年に国内で初めて事業化しました。水と分離剤を使用し、使用済み紙おむつをパルプ、プラスチック、汚泥等に分離することで、焼却処理と比較してCO₂排出量を約40%削減できます。既存インフラとの連携（下水処理場との水資源の連携等）により、コスト面でも取り組みやすいリサイクルを実現します。

● 再資源化システムによる有用資源の回収

水溶化処理によって回収した再生パルプは建築資材として、汚泥類は土壌改良剤として、プラスチックは現状、固形燃料（RPF）として再資源化していますが、排出事業者へ有益な商品として還元すること（アップサイクル）を目標に研究開発を進めています。